

コミュニティを考える視点

法政大学大学院政策創造研究科・教授

武藤博己

はじめに

1994(平成6)年5月、川崎地方自治研究センターに川崎市第三セクター研究会設置

1995(平成7)年5月、川崎地方自治研究センターに川崎市市民事業研究会設置

1997(平成9)年7月、東京都生活文化局に第7期コミュニティ問題研究会設置、1998(平成10)年6月から「市民活動に関する研究会」に名称変更

2000(平成12)年5月、川崎市市民活動支援指針策定委員会設置

2002(平成14)年1月、川崎市市民活動推進委員会設置

2008(平成20)年5月、川崎市都市型コミュニティ検討委員会設置

1. コミュニティのイメージ

国民生活審議会

コミュニティ問題小委員会

答申「コミュニティ——生活の場における人間性の回復——」昭和44年(1969年)

「生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人及び家族を構成主体として、地域性と各種の共通目標を持った、開放的でしかも構成員相互の信頼感のある集団をわれわれはコミュニティと呼ぶ。」

国民生活審議会総合企画部会(平成17年7月)

報告「コミュニティ再興と市民活動の展開」

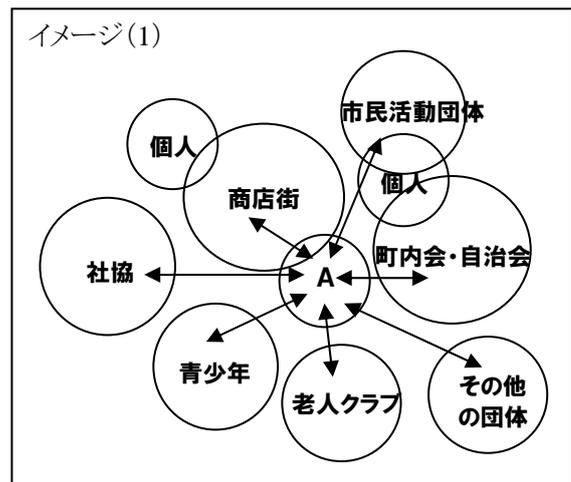
「コミュニティとは、自主性と責任を自覚した人々が、問題意識を共有するもの同士で自発的に結びつき、ニーズや課題に能動的に対応する人と人とのつながりの総体のことをいう。」

コミュニティとは、地域社会、近隣社会

コミュニティとは、住民の相互関係(協力・助け合い等)

コミュニティのイメージ

イメージ(1)——Aという団体を中心に様々な団体が連携・協力してある活動を行っているというイメージを表したもの



2. コミュニティの論点

(1)活動の場や区域に関すること

●区域について

●場について

(2)人材に関すること

(3)資金に関すること

(4)連携に関すること

●コミュニケーションの方法について

●組織について

●情報に関すること

3. コミュニティ力の強化

地域公共力の4つの要素

- ①問題の発見、問題の共有
- ②人のつながり
- ③問題解決力
- ④公共力の継続性

●コミュニティ力の強化

- ①人の絆(地域構成員間の信頼とつながり)
- ②問題の共有と解決(地域にある問題の発見、共有、問題の解決)
- ③公平で民主的な地域社会(コミュニティの民主的なルールと規範)

●コミュニティ力の継続